



使用部位



池坊

使用量	(少ない) 特に好んでお稽古に使用するものでもない
特徴	原種であるとか、珍しいものに手が伸びる事がある。八方に向いて咲くので、いけばなとして使いやすい花材ではない。

小原流

使用量	(中程度) 年に1、2回
使用時期(お稽古)	特になし
使用時期(試験)	特になし
本数	2、3本
花	枝分かれを分けて生けるので、分岐からが5cmから10cmあると使いやすい
特徴	たくさん色があるので、他の花材と合わせやすい。普通の花屋でも買える。

季節

春

夏

秋

冬

龍生流 *龍生派では古は古典花、自は自由花を指します。

使用量	(多い) 3/5のクラス年3~4回
使用時期(お稽古)	冬期以外ほぼ通年
本数	3~4本
花	40~60cm
特徴	自:花色を指定しなければほぼ通年で使用。今後古典華でも使用を検討したい。

入手困難



流通量(少)



生産者情報

産地名	地域	連絡先/担当	備考
あわグリーンファーム 関上繁	千葉県南房総市	03-3799-5526 (市場) FAJ 切花部	斑入りの葉
信州片桐花卉園	長野県上伊那郡飯島町		約20種/通年